

新型コロナ禍におけるキャリア・転職意識調査 7割が「キャリア・転職への意識が変化」 うち半数が「リモートワークが中心となる働き方を希望」

－エンワールド・ジャパン 新型コロナ禍におけるキャリア・転職意識調査－

日本最大級のグローバル人材に特化した人材紹介会社 エンワールド・ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：ヴィジェイ・ディオール）は、新型コロナ禍における「キャリア・転職」の意識変化についてアンケートを実施し、エンワールド・ジャパンのサービス登録者4,636名から回答を得ました。

調査結果 概要

- 7割が「キャリアや転職についての意識が変化した」と回答
- 「キャリア・転職への意識が変化した」と回答した方のうち、半数が「リモートワークが中心となる新しい働き方を希望」
- 「キャリア・転職への意識が変化した」と回答した方のうち、6割が「今後のキャリアを検討するための情報収集」を開始
- スキルアップのための勉強、第1位は「英語」、第2位は「プログラミング」
- 転職活動をしている方のうち、2割が「新型コロナウイルス感染症流行後に転職活動を始めた」と回答。
- 新型コロナ流行開始後に転職活動を開始した方の理由、70%は「自発的」、24%は「会社都合」
外資系企業は「会社都合」が日系企業の2.5倍
- 新型コロナ流行開始後に『転職活動の検討を停止した人』、7割は「事態が収束するまで様子を見たい」
- 転職を希望している人の7割が「6カ月以内」に転職を希望。
うち4割は「良い仕事が見つければすぐにも」

【結果解説】 エンワールド・ジャパン 代表取締役社長 ヴィジェイ・ディオール (Vijay Deol)



新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの生活のあらゆる面に影響を与えており、キャリアや転職も例外ではありません。健康と安全、雇用の安定、働き方、経済全般に関する懸念が、転職希望者の行動に影響を与えています。人々は今もなお自分のキャリアについて考えており、多くの人々が短期的に転職をしようとしています。動機と優先順位は変化しています。

現在の職場での雇用の安定を不安視し、より安定した企業への転職を希望する人がいる一方で、市場の不確実性が高く、転職を躊躇する人もいます。また、従業員のエンゲージメントや働き方の変化も注目されています。従業員の健康と安全を優先している企業は従業員のエンゲージメントが高まる可能性が高く、十分でない企業はエンゲージメントが低下すると考えられます。

さらに、特にリモートワークやフレックスタイムなどの柔軟な労働環境は、転職希望者が新しい会社を選ぶ際に非常に重要な優先事項です。経済が更なる発展をとげ最終的に景気は回復しますが、日本の労働力不足は今後も継続し、人材獲得競争は続いていくと思われます。ポストコロナの世界において、企業が優秀な人材の獲得に成功するためには、転職希望者の想いや優先順位の変化に対応し、健康と安全、雇用の安定、労働環境と労働の柔軟性などをより慎重に考慮する必要があります。

本ニュースリリースに関する問合せ先

エンワールド・ジャパン株式会社

<https://www.enworld.com/>

広報担当 進（しん）

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン12階

TEL:03-4578-3521 FAX:03-6214-3023

Email : enworld-pr@enworld.com

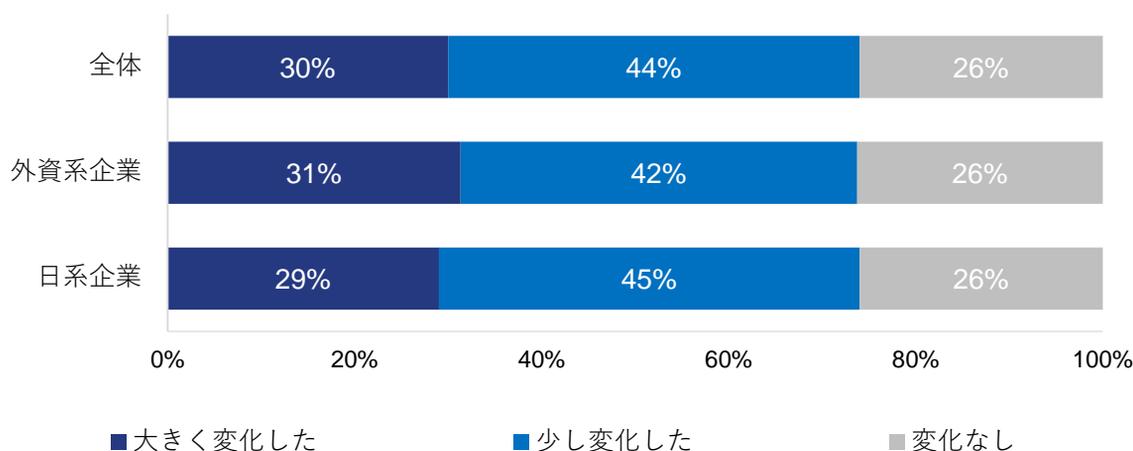
調査結果 詳細

1. 7割が「キャリアや転職についての意識が変化した」と回答（図1）

「新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受け、今後のキャリアや転職についての意識は変化したか。」と伺ったところ、74%が「大きく変化した」「変化した」と回答しました。

（外資系企業社員：73%、日系企業社員：74%）

【図1】新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受け、今後のキャリアや転職についての意識は変化したか。（勤務先企業の資本形態別）

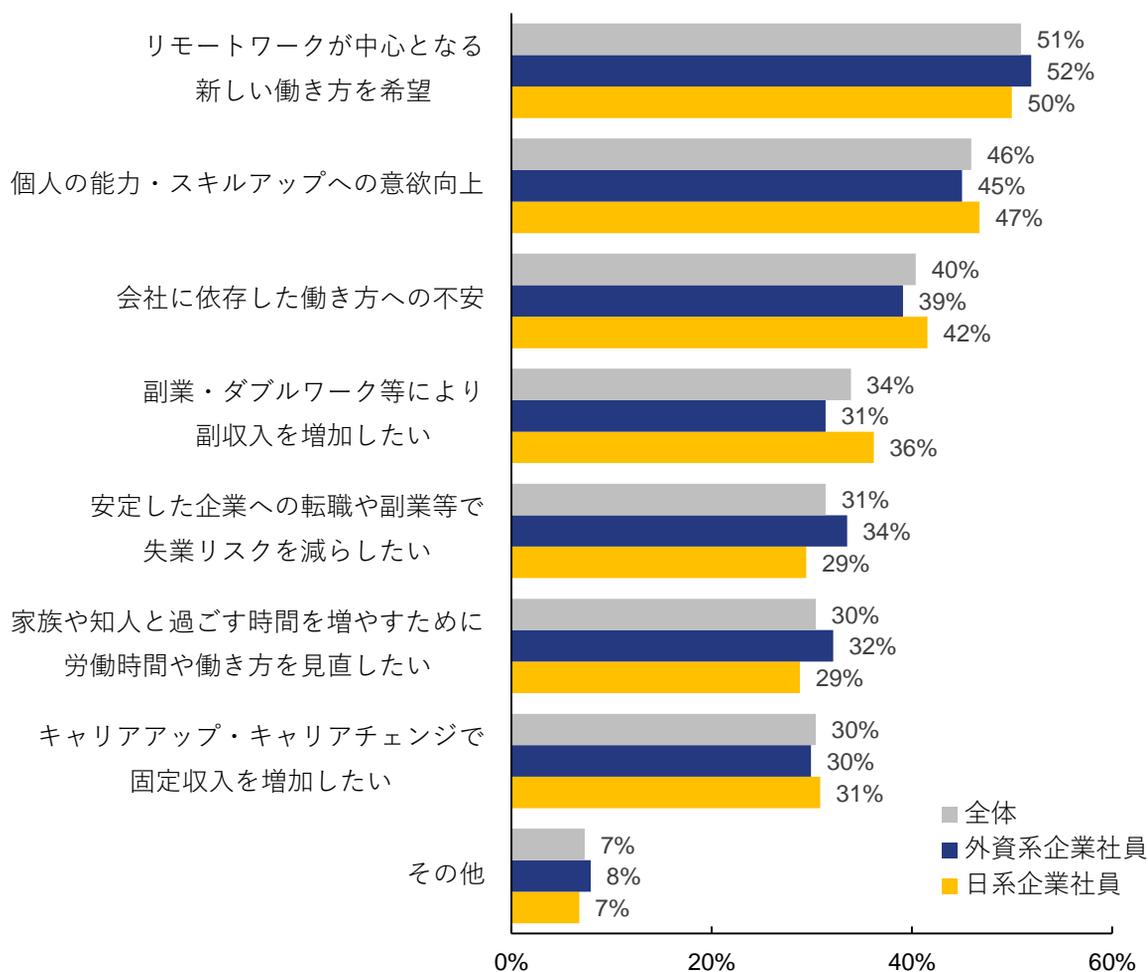


*小数点第一位を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合があります。

2. 「キャリア・転職への意識が変化した」と回答した方のうち、半数が「リモートワークが中心となる新しい働き方を希望」（図2）

キャリア・転職への意識が「大きく変化した」「変化した」と回答した方に「意識はどのように変化しましたか」と伺ったところ、5割が「リモートワークが中心となる新しい働き方を希望」と回答しました。（外資系企業社員：52%、日系企業社員：50%）次いで「個人の能力・スキルアップへの意欲向上」でした。（同：45%、47%）

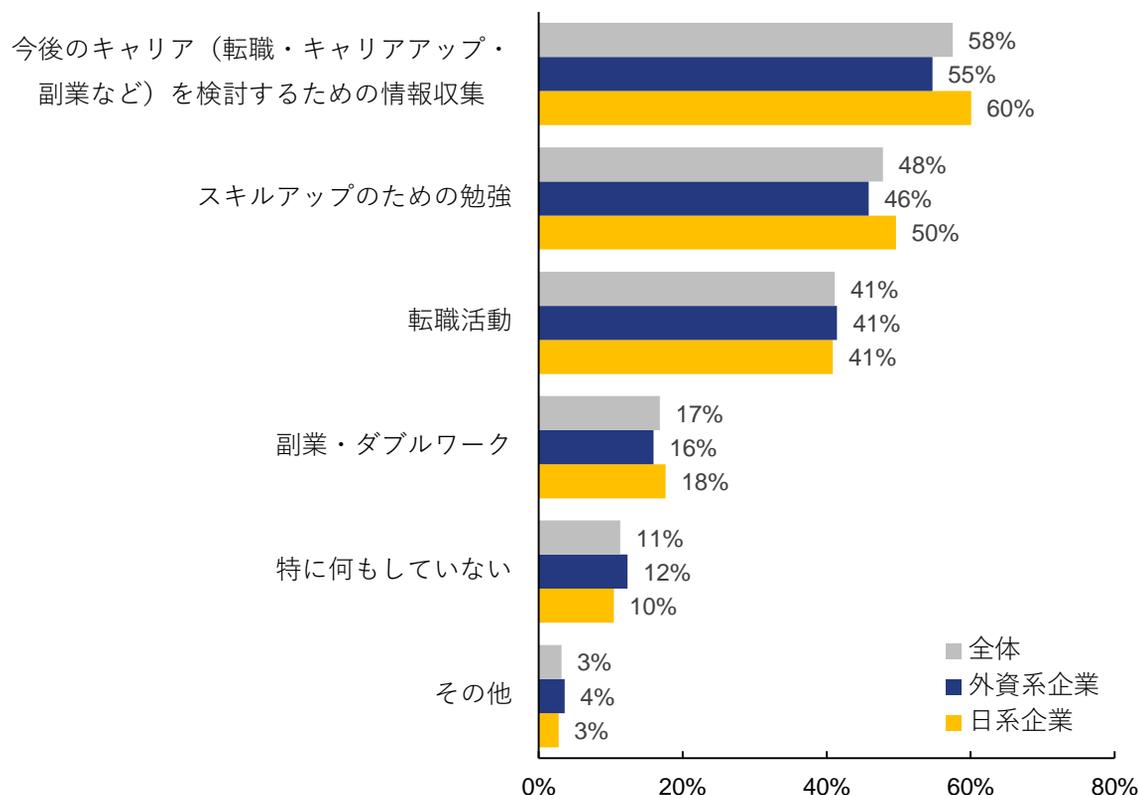
【図2】 「大きく変化した」「少し変化した」と回答した方に伺います。意識はどのように変化しましたか。（複数回答可／勤務先企業の資本形態別）



3. 「キャリア・転職への意識が変化した」と回答した方のうち、6割が「今後のキャリアを検討するための情報収集」を開始（図3）

キャリア・転職への意識が「大きく変化した」「変化した」と回答した方に「具体的に取り組み始めたことはありますか」と伺ったところ、6割が「今後のキャリア（転職・キャリアアップ・副業など）を検討するための情報収集」を開始したと回答しました。（外資系企業社員：55%、日系企業社員：60%）

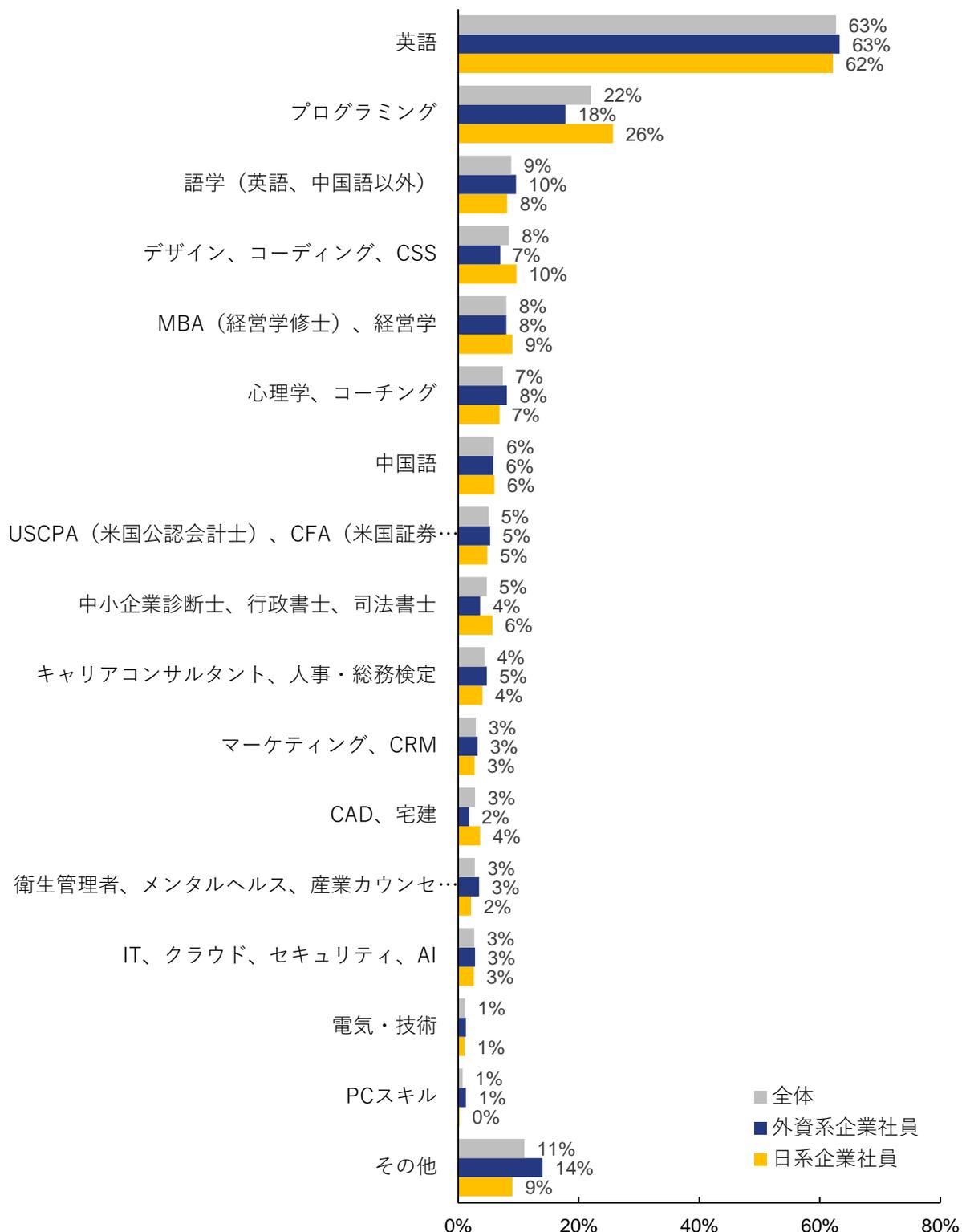
【図3】 「大きく変化した」「少し変化した」と回答した方に伺います。具体的に取り組み始めたことはありますか。（複数回答可）



4. スキルアップのための勉強、第1位は「英語」、第2位は「プログラミング」 (図4)

「スキルアップのための勉強を始めた」と回答した方に、具体的に何を勉強しているか伺いました。外資系企業社員、日系企業ともに第1は「英語」（外資系企業社員：63%、日系企業社員：62%）、第2位は「プログラミング」（外資系企業社員：18%、日系企業社員26%）でした。

【図4】 前問で「スキルアップのための勉強」と回答した方に伺います。
具体的に何を勉強していますか。（複数回答可）

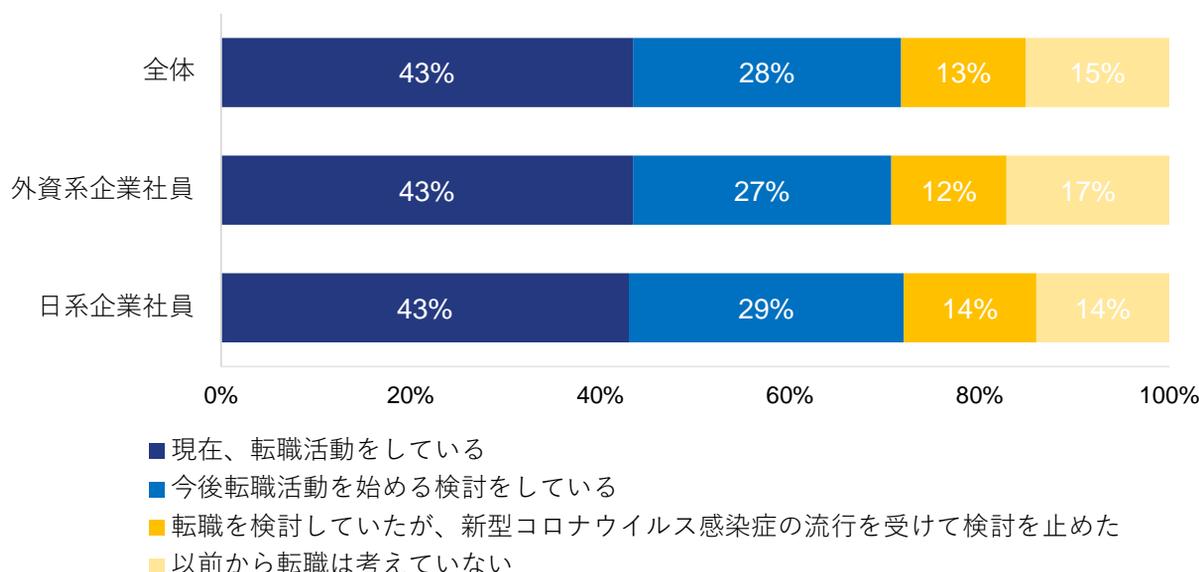


5. 転職活動をしている方のうち、2割が「新型コロナウイルス感染症流行後に転職活動を始めた」と回答。（図5、図6）

「現在、転職活動をしていますか」と伺ったところ、全体の約4割が「現在、転職活動をしている」と回答しました。（外資系企業社員：43%、日系企業社員：43%）「今後転職活動を始める検討をしている」は約3割（同：27%、：29%）でした。

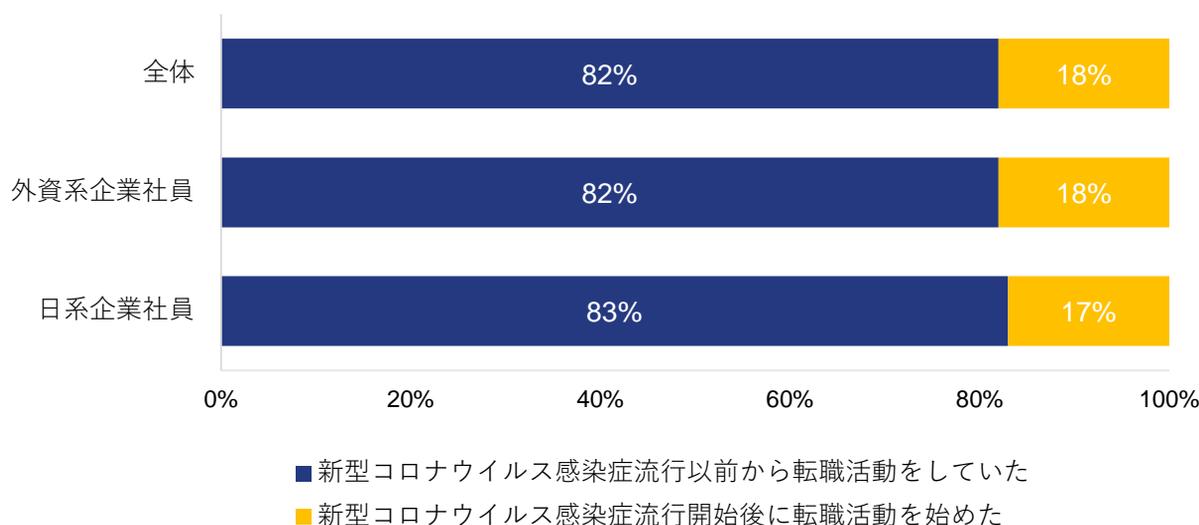
「現在、転職活動をしている」と回答した方に、転職活動を開始した時期を伺ったところ、2割弱が「新型コロナウイルス感染流行開始後に転職活動を開始した」と回答しました。

【図5】 現在、転職活動をしていますか。



*小数点第一位を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合があります。

【図6】 「現在、転職活動をしている」と回答した方に伺います。
転職活動は新型コロナウイルス感染症流行以前から行っていましたか？

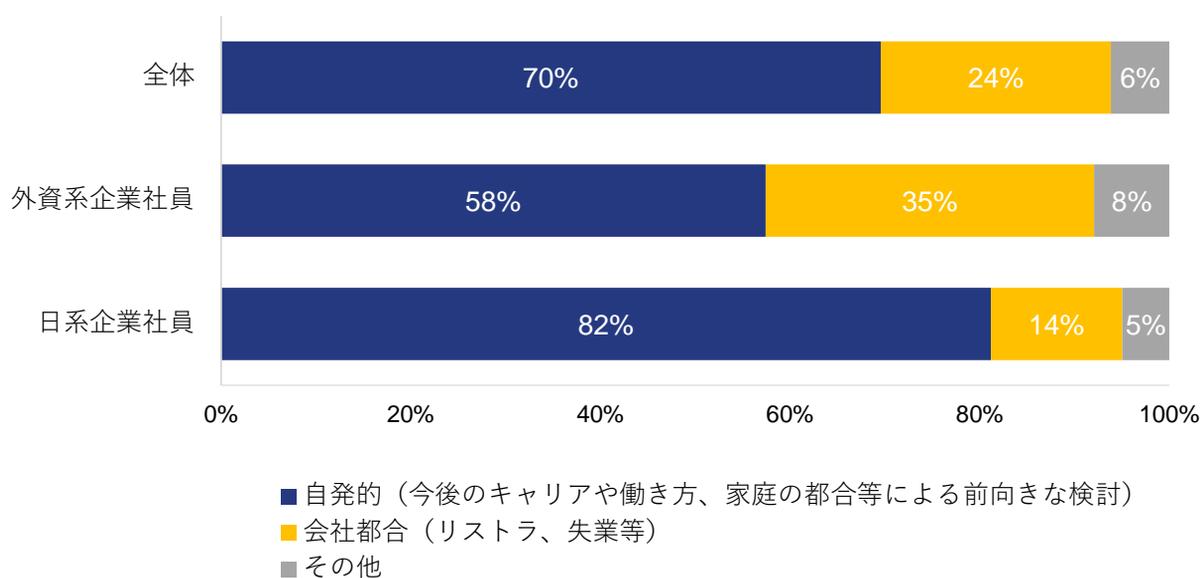


6. 新型コロナ流行開始後に転職活動を開始した方の理由、70%は「自発的」、24%は「会社都合」。外資系企業は「会社都合」が日系企業の2.5倍（図7）

「新型コロナウイルス感染流行開始後に転職活動を開始した」と回答した方にその理由を伺うと、「会社都合（リストラ・失業等）」と回答した割合は、外資系企業社員の回答が日系企業社員の回答を21ポイント上回りました。（外資系企業社員：35%、日系企業社員：14%）

雇用にシビアな外資系企業で、日系企業より多く人員整理が進んでいることが推察されます。

【図7】「新型コロナウイルス感染症流行開始後に転職活動を始めた」と回答した方に伺います。転職活動を始めたのはどの様な理由からですか。

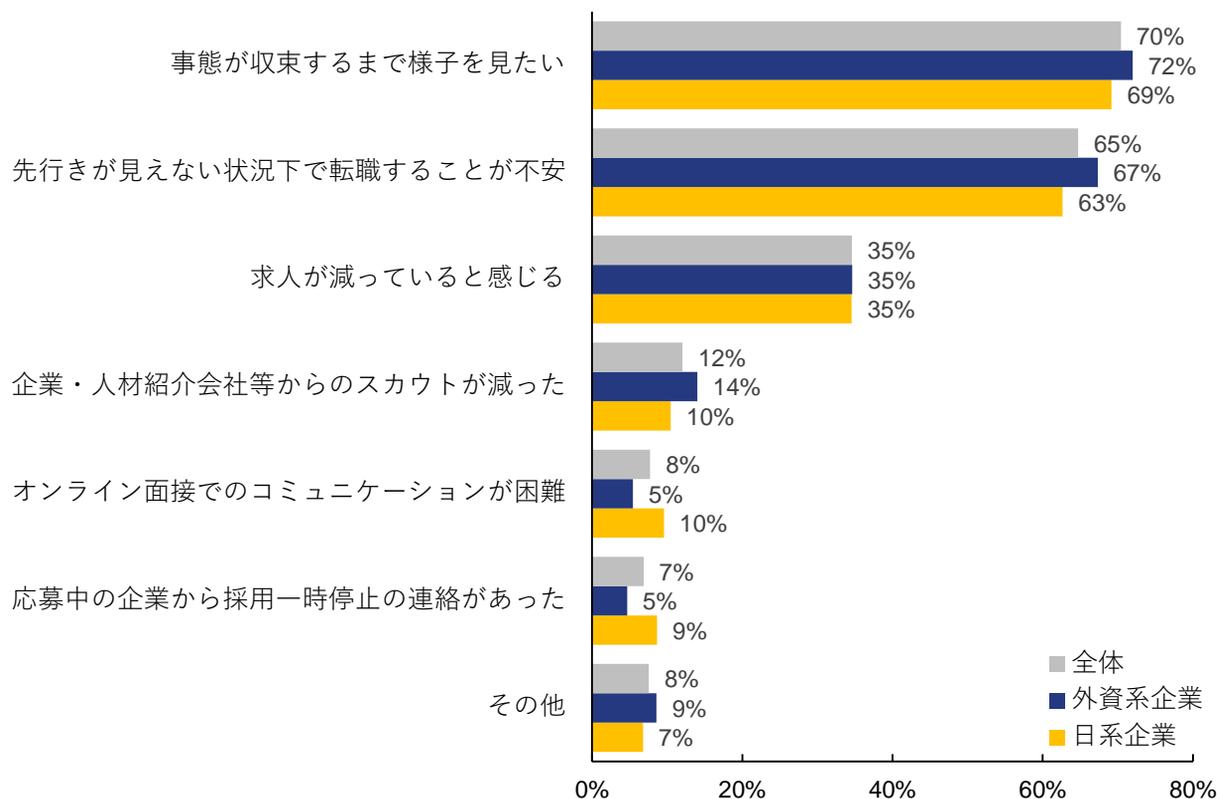


*小数点第一位を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合があります。

7. 新型コロナ流行開始後に転職活動の検討を停止した人、7割は「事態が収束するまで様子を見たい」 (図8)

「転職を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて検討を止めた」と回答した方にその理由を伺ったところ、第1位は「事態が収束するまで様子を見たい」(外資系企業社員：72%、日系企業社員：69%)、第2位は「先行きが見えない状況下で転職することが不安」(同：76%、63%)でした。

【図8】 「転職を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて検討を止めた」と回答した方に伺います。新型コロナウイルス感染流行拡大を受けて転職の検討を停止した理由は何ですか。(複数回答可)

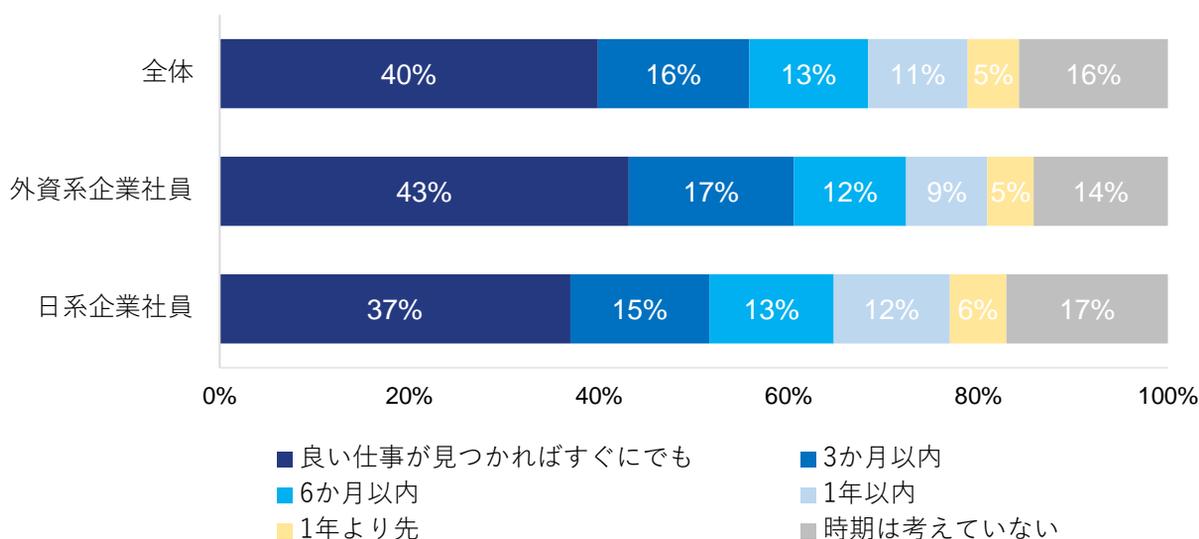


8. 転職を希望している人の7割が「6カ月以内」に転職を希望。 うち4割は「良い仕事が見つければすぐにでも」（図9）

「現在、転職活動をしている」「今後の転職活動を検討している」と回答した方に、いつ頃を目途に転職したいか伺いました。「6カ月以内」に転職したいと回答した方（*1）約7割、そのうちの4割は「良い仕事が見つければすぐにでも」と回答しました。（外資系企業社員：72%、日系企業社員：65%）*1 「良い仕事が見つければすぐにでも」「3か月以内」「6カ月以内」の合計

6カ月以内に転職したいと回答した方の理由もご紹介します。『良い仕事が見つければすぐにでも』と回答した方からは「現在離職中」「今後はより一層厳しい状況になると思うため」、『3か月以内』では「引き継ぎなどを見越した時期」「賞与のタイミング」、『6カ月以内』では「コロナが落ち着きを見せていると思う」の回答が目立ちました。

【図9】 いつ頃を目途に転職したいですか。



*小数点第一位を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合があります。

▶ 転職希望時期とその理由

「良い仕事が見つかればすぐにでも」

- ・ 転職市場に関しても、今後はより一層厳しい状況になると思うため（外資系企業社員、30代）
- ・ 4月末に解雇された（外資系企業社員、40代）
- ・ 明確なキャリアプランがあるため（外資系企業社員、40代）
- ・ 外資系なのでコロナの影響で撤退もあるので不安（外資系企業社員、50代）
- ・ もともと機会があれば転職に前向きだったため（外資系企業社員、50代）
- ・ 自身のキャリアアップのため（日系企業社員、30代）
- ・ コロナを理由に賞与も昇給もカットされたから（日系企業社員、40代）
- ・ 働き方を変えて、自分が好きなことで生きていくと決めたから（日系企業社員、40代）
- ・ いい仕事があれば、チャレンジしたいといつも思っているため（日系企業社員、50代）
- ・ コロナの影響で既に退職している（日系企業社員、50代）

「3か月以内」

- ・ 賞与支給のタイミング（外資系企業社員、30代）
- ・ 社内事情がいつ変化するかわからないため（外資系企業社員、40代）
- ・ 現職の区切り、退職交渉の時間を考慮（日系企業社員、30代）
- ・ 引き継ぎに1か月程度時間が必要（日系企業社員、40代）

「6か月以内」

- ・ 今後の転職市場の状況や、新型コロナウイルスの企業への影響が半年後くらいまで分からない
(外資系企業社員、40代)
- ・ 新型コロナウイルスの社会への影響が低減されると思われるため（外資系企業社員、50代）
- ・ 新型コロナウイルスの状況を見つつ、冷静に判断できる期間だと思う（日系企業社員、40代）
- ・ 新型コロナウイルスからの回復後、すぐに新しいキャリアをスタートしたい
(日系企業社員、40代)

【調査概要】

調査方法：インターネット調査

調査地域：全国

有効回答数：4,636名

調査実施期間：2020年5月19日～5月21日

回答者所属企業：外資系企業 48%、日系企業 52%

エンワールド・ジャパン (<https://www.enworld.com/>)